

# タオルと寄付金 観成園に贈る

長春寺仏教婦人会

## 駒ケ根

駒ケ根市の長春寺仏教婦人会は2日、社会貢献活動の



一環で同市の特別養護老人ホーム観成園にタオルと寄付金を寄贈した。吉澤康道住職と会員4人が同園を訪ね、柴笠守園長ら職員に手渡した。

駒ケ根市の長春寺仏教婦人会は5年ほど前から、タオルを集め地元の社会福祉協議会や福祉施設に年1回寄贈を行っている。北村八重子会長は「何かの形で地域に貢献したい。タオルは何枚あっても役立つと思うので、いろいろな場面で使ってもらえたらうれしい」と述べ、1000枚以上のタオルと寄付金1万円を贈った。

今回は施設見学も兼ねて来  
↑  
タオルを寄贈する長春寺  
仏教婦人会の会員

園した。利用者だけでなく地元の人も自由に利用できる喫茶店「喫茶よつてかし」を園内に設けていることや、さまざまなボランティアを地域から受け入れていることを会員に紹介した柴笠園長は「利用者の中で変化を感じてほしいと工夫している。地域に開けた施設を目指し、若い人を含め幅広い年代の人に来園してもらえるようにしたい」と話していた。

設舞台で、宮田太鼓のメンバーと一緒に演奏を披露する。開会式で倉嶋勇公民館長は「先生の話をよく聞いて一生懸命に練習して、祇園祭のときには元気に格好良くたいてください」と呼び掛けた。初日はばちの持ち方から、太鼓をたたく基礎を教わった。子どもたちは講師の動きに合わせて太鼓を打ち、基本のリズムを繰り返して練習していた。